



農協だより

Vol.70

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 24 年 6 月

柿を作しましょう！

柿の新品種の導入事業（苗木購入に助成いたします。）

目的 管内での農産物販売は、市場出荷から大きく転換して農家自らが価格設定して販売する直売方式に変わっています。販売する農産物は野菜が主体になっており農産物の販売種類を多くすることが課題となってきています。特徴のある柿の品種を導入して農家所得の増加を図ろうとするものです。

事業主体 安芸東部技術部会

導入果樹 柿 品種(太月、太天、早秋、太秋)

対象 ○直売組織に入って販売する生産者。活葉倶楽部等
(これから新規会員になられても大丈夫です。)

○平成 24 年 10 月～3 月に植えつける農家

助成金額 111,300 円

(作付農家の購入本数に応じて予算額を配分する。)

募集期間 平成 24 年 6 月～7 月末まで

果樹価格 定価 2,100 円/本

植栽本数 (例) 成圃状態で約 3 本/a (6m×6m)

応募方法 申し込み用紙に必要事項を書いて JA 安芸営農指導センターへ提出してください。(FAXでも可)

問い合わせ先 JA 安芸営農指導センター

安芸郡熊野町萩原 8 丁目 2-6

TEL082-855-6176 FAX082-855-6177

注) 先着順として購入苗は全体で 100 本までとします。応募が多い場合は個人の本数を制限させていただきます。

※申込用紙と品種解説を同封しております。



JA安芸活葉倶楽部支部会

平成 24 年 4 月 26 日に JA 安芸萩原支店・27 日に小屋浦支店・5 月 1 日に畑賀支店で「JA 安芸活葉倶楽部支部会」が開催されました。内容は、「①農作業事故を起こさないように注意の呼びかけ②平成 23 年度販売目標額を達成した報告。③役員改選について④食品表示の勉強会を行う⑤安心・安全農産物作りの確認を行った⑥市況情報の連絡を行い、これからの作付増加を呼びかけた⑦会員による会員増加をしよう」と内容の濃い支部会が行われました。

坂町「菊づくり」体験学習

坂町より「菊づくり」体験学習の講師依頼があり、5 月 17 日営農指導員を派遣しました。午前中は開講式があり、その後、菊づくりについての講習会を行いました。午後からは現地講習として、畝立・定植を行いました。参加者 12 名のうち多数の方が毎年この体験学習を受講されていて、作業の手際の良さと知識には非常に感心し、講師としてではなく受講者から教わる事もありました。



新入職員農作業体験研修

5 月 21 日に平成 24 年度 JA 安芸新入職員の農業体験を育苗センターで行いました。今回は水稻苗の緑化作業、畑の耕運とアスパラの播種を行う。畑の耕運では、初めて使う四つ子鍬やトラクターで苦労していましたが、最後には慣れてきたよううまく使いこなしていました。緑化作業は、パイプハウスの中で台車に乗った発芽苗箱を 1 枚 1 枚地べたへ並べていく作業を行いました。この日は気温も高くハウスの中では体感温度が 40℃にもなり、農業の大変さを学んでいました。これから先も新入職員の農業体験を見守っていきたいと思います。



トラクター試運転



緑化作業

農業講座開催

5 月 8 日に育苗センターで平成 24 年度農業講座の 1 回目を行いました。今回は果菜類の初期管理として仕立て方を中心に講習を行いました。また今回は昨年展示圃で成績の良かったなす、ピーマンの苗を配布しました。次回は 6 月 7 日に整枝管理について行います。

夏まき野菜苗、秋まき野菜苗、園芸用肥料・農薬 予約申込書について

夏まき野菜苗(キャベツ、ブロッコリー等)秋まき野菜苗(イチゴ、タマネギ等)園芸用肥料(やさい有機 189、ベストマッチ等)農薬(ジェイエース粒剤等)土壌改良剤(ミネラル A、ケイテツエース等)生わら発酵促進資材、除草剤(クロレート S 等)について 6 月中旬～7 月中旬に回覧注文を支店購買部で取りまとめいたしますのでご利用のほどよろしくお願いいたします。

6月営農メモ

水 稲

◎水管理による莖数の調整 除草剤を効かした後は浅水か間断かんがいにします。(除草剤散布後、7日間は落水しないでください。)灌水は夜間や早朝にし日中は水を留めて水温上昇を図るようにしましょう。晴れていれば5~10度、曇雨天でも2~3度は高まります。水管理を徹底し分けつの促進と根の健全化を目指しましょう。ただし漏水田での田干しのやりすぎは雑草が発生し易く(除草剤の効果が落ちる)になりますので注意しましょう。

◎根ぐされ・酸素欠乏対策 気温上昇とともに田がわくため田植え 2~3週間後に葉が黄化する「赤枯れ」症状(下葉の黄化、葉先の褐色斑点)が発生することがあります。水温が低い時でも発生します。10日に1~2回足跡に水が残る程度に落水しガス抜きをして根の活力を回復させます。

◎中干し 目標莖数(コシヒカリ・ヒノヒカリ 18~20本/株、あきろまん 19~20本/株、ココノエモチ 22~24本/株)の7~8割分けつしたら、中干しを開始します。中干しは無効分けつ抑制、根の健全化、莖が太くなる、葉が直立する、土壌のガス抜きなどの効果があります。水持ちの良い水田では強めのひび割れ 5~6mm、水持ちが普通であれば弱めのひび割れ(1~2mm)、水持ちが不良であればしないか、しても浅水または足跡に水が残る程度で済ませます。分けつの早いものでは6月15~20日頃から始めて幼穂形成期の4~5日前に終わるようにしましょう。(7月中頃まで)十分中干しが出来た水田では、一度に深水にせず走り水か浅水で管理してください。

◎中間追肥とつなぎ肥 ヒノヒカリ・あきろまんでは幼穂形成期(出穂前25日)の5~7日前までに穂肥が出来るぐらいの肥切れが良いですが、早い時期から肥が切れるようであれば追肥をします。穂肥までに20日以上あれば多木V化成で10kg/10a程度施肥し、7~15日前ではつなぎ肥として1回に5~6kg/10a以内と少なめにします。

◎病害虫の防除 水田の置き苗はいもち病の発生源になるので早めに取り除きましょう。その他、ウンカ類や紋枯病については圃場の条件や今後の発生予報に注意して早めの対応をしてください。

◎中期・後期除草剤 田植え前後の除草剤を使用しても雑草が残った場合に使用します。草種や時期によって適正な農薬がありますので稲作ごよみなどを参考にしてください。

~ 農薬散布前に必ずラベルを確認してください! ~

稲作講習会の開催日 場所: JA各支店 午前の部 10時~ 午後の部 1時30分~

日時	6月11日(月)		6月12日(火)		6月13日(水)		6月14日(木)		6月15日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀 2階	中須賀 2階	東海田 2階	阿戸 2階	上瀬野 3階	中野 2階	瀬野 3階	萩原 2階	追分	初神 老人集会所

果 樹

梅雨は、多雨、日照不足になり生理的落果や食味不良、病気の発生などが心配な時期です。梅雨期の対策として排水不良に注意します。新しい根を作って拡大するためには多くの酸素を必要とします。酸素が欠乏して根傷みすると梅雨明け後の生育に悪影響して樹勢が弱ります。排水は重要な管理作業になります。まず排水溝を確認して樹の周辺に停滞水ができないようにします。

日照不足になると枝は徒長ぎみになり樹冠内が暗くなります。樹全体に光が当たるように摘心、誘引、ねん枝等を行う必要があるかよく観察します。

病気の発生も心配されますので袋を掛けるものは、袋掛け前の防除を徹底します。

柿 6月は開花盛期を迎え摘果時期になります。先月は摘蕾を行っていただいたでしょうか?摘果は摘蕾の仕上げになります。6月の生理落果が気になり十分に摘蕾が行われていないところですが、摘果には次のような効果があります。①隔年結果の防止②果実肥大の促進③果実品質の向上などがあります。したがって、摘蕾や人工受粉が実施されている場合は、6月下旬までに摘果を行い生理落果の終わった7月上旬までに仕上げます。摘蕾や人工受粉が実施されていない場合は、7月上旬に摘果を始め7月中旬までに完了します。

防除 梅雨時は病害虫の発生しやすい時期です。病気については、予防的にされた方が効果があります。害虫については、初期発生で防除します。落葉病、炭そ病、うどん粉病に対してトップジン M 水和剤の殺菌剤が使用できます。カキノヘタムシガ、カキクダアザミウマ、フジコナカイガラムシに対してオルトラン水和剤の殺虫剤が使用できます。

追肥 追肥は、1本あたり6月下旬に有機化成 8-8-8 を5年生なら360g・10年生なら1000g・15年生以上は1750g ぐらい施用してください。

野 菜

梅雨入りまでに排水対策や泥ハネ防止などの梅雨対策をしておきましょう。

整枝 作物が日ごとに生長してきますので、天気の良い午前中には枝の整理を行い、通風を良くしてやりましょう。併せて黄化した下葉や老化した葉なども除く様にします。除く葉は1回に3~5枚程度とし、一度に取りすぎないようにしましょう。

追肥 収穫が始まり肥料が切れやすくなっていますので14~20日毎に追肥を行いましょう。(花が先端で咲いている様であれば肥切れですですのですぐに追肥を行ってください)梅雨に入り追肥後に大雨が降った場合には再度追肥を行ってください。

たまねぎ 晩生のたまねぎが中旬頃(圃場の7割程度が倒伏した頃)に収穫時期となりますが、収穫前日までにトップジンM水和剤500~1,000倍液を散布しておく貯蔵中の腐敗や、カビの軽減となります。

スイートコーン 出穂してくればアワノメイガやアブラムシの予防のためトレボン乳剤1,000倍などを散布しましょう。

病害虫 梅雨に入るとべと病や軟腐病など病気が多発しやすくなります。また去年はニジュウヤホシテントウが馬鈴薯をはじめナス科作物やきゅうりで被害が多かったため、発生が見られたらアディオソ乳剤やディブテレックス乳剤等で早目に防除を行ってください。